

令和4年度 学校評価 自己評価書(3学期)

1 学校の重点事項

<p>【知・体】 学び合う学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協同学習を通じた「学びの共同体」づくりの推進(一学校一改革) ・一人一運動(体幹トレーニング)の実践と継続 <p>【徳】 正義が通る学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長所を認め、伸ばし、改善点を考えさせる指導 ・見逃さない、見過ごさない、見捨てない指導(心と身体を守る) <p>【環境】 きれいな学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢清掃班による「縦割無言作業」の継承と充実 ・「そろえる美学」の理念の共育と実践

2 課題と改善策(1・2・3・4の4段階評価)

	評価項目	職員	今後の改善方策
経営全般	1 学校は、やる気と活気に満ちており、明るく楽しい。	2.9	・生徒会活動の活性化と「協同学習」の継続的な取組
	2 学校は、自由と規律の調和が取れている。	2.8	・各種調査を踏まえた生徒理解と生徒、保護者、教職員による生徒心得(校則)の見直し
	3 学校は、敬愛と信頼で結ばれ、学ぶ喜びに満ちている。	2.8	・教職員の服務に関する研修の充実と生徒が主体となる授業改善の研究
	4 学校は、礼儀正しく品性がある。	2.9	・学年間の連携の強化と子弟同行、率先垂範の意識化
	5 学校は、花と緑が美しく潤いがある。	3.5	・「縦割り無言作業」等への継続的な取組
重点項目	1 教育活動全体を通じた道徳教育の充実と「道徳の時間」の計画的な実施	3.2	・道徳の全体計画の見直しと「ローテーション授業」による指導方法の工夫改善
	2 協同学習を通じた「学びの共同体」づくりの推進	2.9	・計画的な研究授業の実施と相互授業参観を通じた職員研修の実施
	3 自己肯定感・所属感を高める教育の推進	2.8	・アンケート等の継続的な実施と教育活動全般を通じた自己肯定感を高める教育の推進
	4 いじめの防止や早期発見につながる「正義の通る学校」づくり	2.6	・教育相談の充実と問題行動等に対する組織的な対応と家庭・関係機関との積極的な連携
	5 保護者と連携した安全・保健指導及び給食指導の充実	2.9	・定期的な安全点検、校区内危険マップの見直し及び給食指導体制の確立
	6 生徒の適性に応じた系統的な進路指導の推進	3.1	・系統的な進路指導の実践と適切な進路情報の提供(WEB出願等)
	7 学校行事や部活動への積極的な取組	3.0	・学校行事における計画的・組織的な運営及び部活動再編による指導体制の充実
	8 生徒一人一人に対する特別支援教育の視点に立った適切な指導及び支援	2.6	・全職員が参加する特別支援教育委員会の充実と学習支援体制の確立
	9 全ての教育活動における人権同和教育の推進	3.1	・教職員の人権意識の向上と人権学習の計画的な実施
	10 自分の生き方を考えて行くための「総合的な学習の時間」の充実	3.0	・SDGsや平和学習を基盤とした体験的学習や問題解決的学習の工夫
	11 ICT教育機器を利用した授業の推進と情報モラル教育の充実	2.9	・情報教育の内容を細分化した指導体制の確立とタブレット等を活用した校内研修の実施
	12 「9時OFF運動」の推進	2.4	・生徒会活動、PTA(保健体育部)と連携した啓発活動の実施
	13 「縦割り無言作業」を通じた教育環境の整備と充実	3.3	・縦割り無言作業に関する共通理解及び作業用具、作業内容、人数割り等の見直し
	14 PTA・地域等との連携強化	3.1	・PTA運営委員会、専門委員会への参加と積極的な情報交換
	15 学校における業務改善(簡素化、効率化、業務改善の意識化)の推進	2.6	・定期的な実態調査の実施と、1アクション、1トライの設定

3 来年度に向けての取組

- (1) 認め、支え合う集団づくり
 - ・自己教育力の育成と豊かな人間性の涵養(生徒心得の見直し)
- (2) 地域と連携した学校づくり
 - ・社会に開かれた教育課程の編成(学校運営協議会との連携)
- (3) 高め合う授業づくり・人づくり
 - ・協働性、同僚性を高める実践的な校内研修の推進(エリア推進スクールの取組)

【授業に関すること】

- 少人数学級での授業で、教師と生徒が一体になり授業に取り組んでいた。
- 生徒の授業に対する取組や態度が頼もしく感じられた。
- 協同学習の伝統が継続されているようで安心した。
- それぞれの教科授業において、先生方の工夫が感じられ、生徒が有意義な学習をしていると感じた。
- 各学級とも授業において集中して取り組んでおり、いい学習環境であると感じた。

【特別支援教育、生徒指導に関すること】

- 総合学級の生徒に対する授業でこまやかな心遣いが感じられた。
- 中学生は年齢的に難しい時期だが、素直で明るい雰囲気を感じられた。
- 朝、見守り活動をしているが、あいさつなど、元気な生徒が多くなり明るくなったように感じる。
- 学校のいじめ問題は何件あるか。いじめ問題は初動が大切だと思う。生徒を守るため、学校には速やかな対応をしてもらいたい。

【学校美化、設営、施設に関すること】

- 学校がきれい、来るたびに感じる。
- 廊下の壁に展示物が少ない感じがする。
- 図書室前に掲示してあるビブリオツイートで本の紹介をしてある工夫がいいと感じた。

【説明、資料に関すること】

- 令和5年度から新設される学校運営協議会設置についての説明により、保護者や地域住民が学校運営に反映されることをよく理解できた。
- 学校だよりで、「なるようになる、心配するな」の言葉は、保護者にも生徒にも私たちにも励みになる言葉です。
- 丁寧な説明だった。安心して子どもたちの教育をお任せし信頼できる学校だと思う。
- 学校運営協議会では、各教科担任の人数や各部活指導の状況の説明などが必要だと思う。
- 学校運営委員会の設置により、今後、中学生がより地域にかかわっていくようになり、地域としても楽しみである。

【その他、要望、感想等】

- 何かと大変なこの時期に、明るい笑顔の人にも分けてあげられる子どもたちであってほしいと願う。
- 地域を見守る主任児童委員として、これからも微力ながら尽力していきたい。
- 3年生は、受検に向けて、恐れることなく立ち向かう強い気持ちで頑張してほしい。